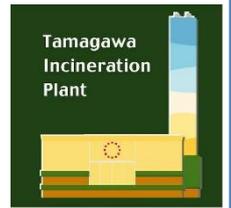


発行： 東京二十三区清掃一部事務組合 多摩川清掃工場
〒146-0092 東京都大田区下丸子 2-33-1
電話：03-3757-5383 FAX：03-3757-5725
東京二十三区清掃一部事務組合ホームページ
<https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/>



発行日： 令和5年12月26日

★「環境フェア」へのご来場ありがとうございました

10月15日(日)に大田区との共催で、15回目となる「環境フェア」を開催しました。当日はあいにくの天気でしたが、雨風が治まってきた昼頃からは、地域の多くの皆さまをお迎えすることができました。

環境フェアでは、恒例の工場見学&クイズラリーのほか、工場職員手作りのクレーンゲームには子どもたちが列を作り、楽しんで操作する様子が多く見られました。

そのほか、大田区の協力により古着や小型家電の回収、環境学習車へのごみ積み込み体験なども実施され、清掃事業を身近に感じていただくことができました。

今後も開かれた清掃工場を目指し、地域の皆様に親しまれる取組を続けてまいります。



工場見学



クレーンゲーム



ごみ積み込み体験

★運営協議会を開催しました

10月25日(水)に第56回運営協議会を開催し、工場の操業状況や環境調査結果などについて、地域住民代表委員に報告しました。

当日の資料は当組合のホームページでも公表しています。

★地元保育園の園児たちからプレゼントをいただきました

勤労感謝の日がある週に、矢口第二保育園の園児たちが来場し、日ごろの活動に対するお礼の言葉とともに、心のこもった絵とメッセージが書かれたしおりをいただきました。

私たち職員も感謝の気持ちを忘れず、より一層職務に励んでいきたいと思えます。



★環境報告書 2023 を発行しました

環境報告書は、当工場の1年間の事業活動に伴う環境負荷及び環境配慮の取組状況についてまとめたものです。

当工場において冊子を配布しているほか、当組合のホームページでも公表しています。

★排ガスダイオキシン類調査結果

令和4年8月から令和5年4月までに実施した排ガスのダイオキシン類調査結果は下表のとおりです。全ての調査年月日で基準値を下回っています。

項目		調査年月日	基準値	調査値	単位
排ガス	1号炉	令和4年 11月 2日	0.1	0.000015	ng-TEQ/m ³ N
		令和5年 1月 14日		0.00000014	
		令和5年 4月 7日		0.000019	
	2号炉	令和4年 8月 22日		0.0016	
		令和5年 1月 16日		0.00020	
		令和5年 4月 10日		0.000042	

- 1 ダイオキシン類は、ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン、ポリ塩化ジベンゾフラン、コプラナーポリ塩化ビフェニルの総称です。
- 2 TEQ（毒性等量）とは、ダイオキシン類の量を最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値です。
- 3 ダイオキシン類の値は、酸素濃度12%換算値です。
- 4 ng(ナノグラム)は10億分の1グラムの質量を表します。
- 5 m³(ノルマル立方メートル)は、0℃、1気圧の標準状態における気体の体積を表します。

★『ごみバンカ火災対応訓練』でドレンチャーから放水しました



ドレンチャー起動

ドレンチャーとは、バンカ火災の際、ごみバンカ壁に設置している散水ノズルから放水し、水幕を張って延焼を防ぐ設備です。1基で毎分400Lの水を放水します。

当工場のごみバンカには放水銃も設置されており、過去のごみバンカ火災警報発報の際にも、初期消火にて防ぐことができました。

今後も、訓練により安全で安心な工場運営に努めていきます。



ドレンチャー放水

★薬剤配管の改善を行いました

清掃工場では、安全で安定的な焼却炉の運転のため、日常的に様々な設備の点検・補修を行っています。

今回は薬剤配管の改善作業の様子をご紹介します。

改善した理由は、排ガス中の有害物質を除去する薬剤が、配管の途中で詰まりやすくなってきたためです。

そこで、職員が設備改善を提案し、清掃技術訓練センターから若手職員が研修に来場した際、研修の一環として新しい配管づくりに協力してもらい、工場職員が配管を取付けました。改善後は、薬剤の流れがより安定したため、日頃の公害防止に一層役立っています。

今後も工場職員の日々の努力と創意工夫により、安全で安定的な清掃工場の操業に努めてまいります。



配管作成の風景



配管取付け中